

宮本町町内会 事例紹介

青年部の活動のヒント

区域

川崎市川崎区宮本町

加入世帯

約380世帯

問合せ

川崎区役所地域振興課 044-201-3133



宮本町町内会青年部のメンバー

宮本町町内会の活動事例

青年部の活動 のヒントに

「活動をもっと盛り上げたい」

川崎稲毛神社山王祭といったイベント企画の中核を担う宮本町町内会青年部。

町内会の活動は、その区域に住む住民で担うのが一般的な中、宮本町町内会の青年部ではこれまでの親世代が担っていた活動を大切にしながらも、従来の考え方にとらわれず、町内会の活動やその楽しさ、活動趣旨に魅力を感じた方・共感してくれた方と一緒にイベントを作り上げています。

また、若い世代・子育て世代に対するアプローチ方法として、Instagramを採用。宮本町町内会として、町内会への加入率が低下している中、独自の加入案内チラシを作成し加入を呼びかけるとともに、青年部で作成したInstagramの2次元コードを貼付することで、地域のお祭り等のイベント情報や魅力を発信。

宮本町町内会では、様々な人が町内会に愛着を感じてもらえるように、みんなが楽しめるイベントの企画を目指しています。

青年部の活動にもっと参加してもらうには？

まずは自分たちが活動を楽しむことが大事

自分たちの楽しんでいる様子や活動内容を見て、
私たちも「楽しそう、関わってみたい」をきっかけに

町内会の垣根を越えて、

だれでも一緒にイベントの運営参画を行う

一番楽しくて盛り上がるカッコいい町内会を目指して

背景

- 親世代が担ってきた町内会活動の伝承と活動に対する思い
- 次世代への引継ぎ・継続できる仕組みづくりの必要性

取組

- Instagramやチラシで町内会の活動内容や魅力が見える化
- みんなが楽しめるイベント企画の検討

従来の町内会の考え方にとらわれず、みんなが楽しめるイベント企画の検討を

町内会活動は楽しくないと続かない、楽しいものにする工夫が参加者や協力者が増える一番の近道

01

「活動の見える化」

Instagramの開設

開設費用や維持管理費などコストを要することなく作成が可能で、若年層の利用率が高いInstagram。

デジタルに情報を伝える手段は複数ある中で、宮本町町内会青年部では、若い世代へのアプローチとして、また情報の拡散が可能な手段として、令和7年6月にInstagramを開設。

魅力を伝えるツールに

Instagramで活動実績や参加者の声（写真やコメント）を掲載し、町内会の良さを可視化。

実際の活動の様子を共有することで、「楽しそう」「参加してみたい」と感じてもらい、イベントへの協力や参加者が増えることを期待しているという。

SNSは続けることが大事、イベント等活動を切らさずに継続的な情報発信を目指す。

新たな情報発信手段の検討

LINE公式アカウント、メール、紙媒体など情報発信手段は多岐に渡るが、世代のニーズや目的に合わせた発信方法を取り入れることが大事。多くの方に町内会の活動や魅力を伝えるためにも、Instagramだけでなく、複数の情報発信の方法を検討していく。

02

「持続的な活動」

参加しやすい環境づくり

宮本町町内会青年部では、その地域に住む町内会の会員だけでなく、青年部の活動に共感し、自分たちもイベントを楽しみたい、盛り上げていきたいといった想いのある方は、一緒に様々な形でイベントに参画することが可能。

新築マンション等、人の入れ替わりが激しく、従来から宮本町に住んでいた方が減少していく中、多くの方が町内会に愛着を感じ、みんなが楽しめるイベント企画を模索している。

継続できる仕組みへ

デジタル化を検討している町内会・自治会が多いが、どうしてもデジタル化の運用は、個人の専門的な知識や若い世代の経験値に偏りがちで、継続的な運用が難しい。

そこで、Instagramの運用ルールなど簡単なマニュアルを作成することで、役員が入れ替わっても途切れずに、投稿を続けられる体制構築を目指すことに。

マニュアル作成といった少しの工夫が、組織の持続性を大きく高める。

03

「仲間を増やす」

チラシの作成

宮本町町内会では、町内会独自の加入案内チラシを市の担当者に相談の上で作成。町内会への加入を呼びかける他、青年部のInstagramの2次元コードをチラシに貼付することで、活動内容や活動の魅力を発信していく。

情報を地道に発信することは労力を要し、結果もなかなか結び付かない。でもイベントに参加してもらえればきっと楽しく楽しいから。そのような想いで、引き続き呼びかけを行っていく。

宮本町町内会の加入促進チラシ

